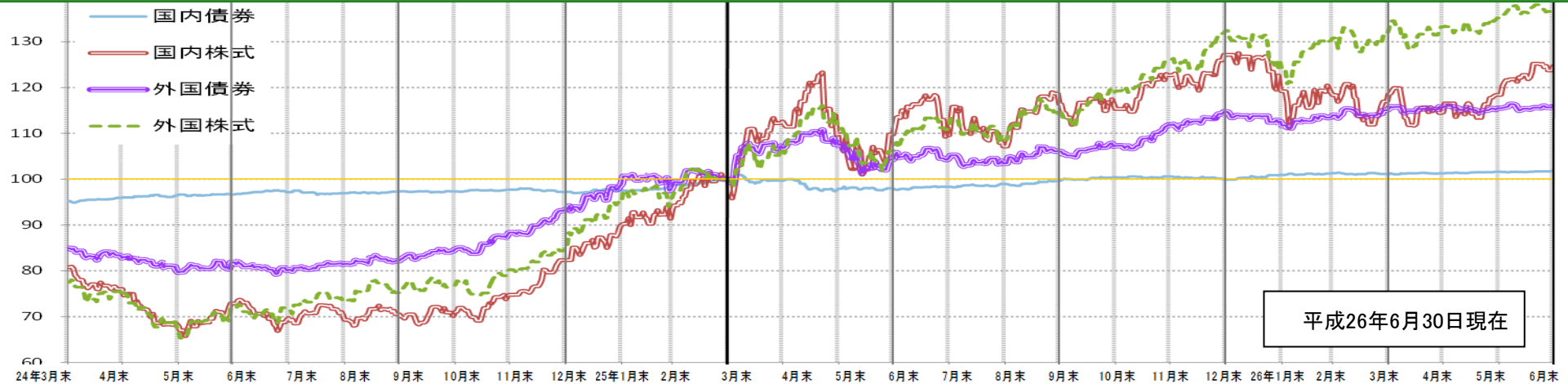


# 内外株式・債券のベンチマーク推移

資金運用委員会  
第25回 (H26. 9. 16)

資料1-1



資産区分	ベンチマーク	平成23年度	平成25年度				平成25年度				平成26年度
		3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
国内債券	NOMURA-BPI/Ladder 20年	155	157	158	158	163	159	162	162	164	166
国内株式	TOPIX(配当込み)	1,109	1,001	969	1,131	1,374	1,508	1,599	1,746	1,629	1,712
外国債券	シティ世界国債	305	294	295	336	359	375	381	412	414	416
外国株式	MSCI-KOKUSAI	1,215	1,124	1,179	1,341	1,567	1,664	1,783	2,076	2,076	2,142
ベンチマークの収益率		+2.98%	△1.05%	△0.52%	+3.09%	+9.65%	+0.73%	+3.33%	+6.97%	+6.72%	+1.56%

(出典: Bloomberg等)

## 平成25年4月から平成26年3月までのベンチマークの動き

- 【国内債券】 10年国債利回りは4月の日銀の「質的・量的金融緩和政策」により、一時史上最低の0.315%まで急激に低下したものの、5月下旬には米国の金融緩和縮小観測を受けた米長期金利の上昇や円安・株高を背景に利回りが大きく上昇し、一時は1%まで上昇するなど第一四半期は乱高下した。その後は日銀による国債買い入れオペが需給の下支えとなり、利回りは低下する展開となった。通期では26年3月末のベンチマークは25年3月末に比べ若干上昇した。
- 【国内株式】 日銀の「質的・量的金融緩和政策」や政府の成長戦略への期待から、5月下旬まで大幅上昇した後、米国の金融緩和縮小観測やシリア情勢をめぐる不透明感から、リスク回避志向が高まり大きく下落した。9月以降は、東京オリンピックの開催決定、円安や世界的株高により、1月初旬まで大きく上昇した。その後、円高の進行、中国景気の不透明感、外国人投資家の利益確定売りや、ウクライナ情勢の悪化等から下落したが、通期では26年3月末のベンチマークは25年3月末に比べ大きく上昇した。
- 【外国債券】 主要国の長期金利は前年度末比で上昇したものの、対ドル、対ユーロともに円安が進行したことにより、26年3月末のベンチマークは25年3月末に比べ大きく上昇した。
  - ・米国の長期金利は、米景気指標改善を受けた金融緩和縮小観測から、5月下旬以降上昇した。年度後半は、米景気指標の悪化や、ウクライナ情勢の悪化等により低下したものの、通期では25年3月末の水準を上回った。独の長期金利も米に連動する形で上昇した。
  - ・為替は、日銀の「質的・量的金融緩和政策」を受け、年度初めよりドル円、ユーロ円ともに円安が進行した。1月に入って、米金利の低下、ECB(欧州中央銀行)の追加利下げ観測、ウクライナ情勢の悪化により円高となるものの、通期では25年3月末の水準に比べ、対ドル、対ユーロともに円安となった。
- 【外国株式】 米景気指標改善等により、年度初めから外国株式市場は好調。その後、5月の米国の金融緩和縮小観測や、8月のシリア情勢をめぐる不透明感、1月の新興国経済懸念によるリスク回避志向の高まり等により一時下落するも、先進国の好調な経済指標等を受けて上昇基調で推移した。通期では、為替相場の円安にも後押しされ、26年3月末のベンチマークは25年3月末に比べて大きく上昇した。

平成25年度 長期給付積立金の運用状況(平成26年3月末現在)

1 資産構成割合の推移

	平成 25 年 3 月 末			平成 25 年 6 月 末			平成 25 年 9 月 末			平成 25 年 12 月 末			(単位:億円) 平成 26 年 3 月 末			(参考) 基本ポートフォリオ	
	時 価 総 額	構成割合		時 価 総 額	構成割合		時 価 総 額	構成割合		時 価 総 額	構成割合		時 価 総 額	構成割合		中心値	許容乖離幅
国 内 債 券	59,602	61.0%	➡	58,665	62.0%	➡	59,684	61.2%	➡	60,536	61.1%	➡	60,839	60.8%		63%	±6%
国 内 株 式	12,615	12.9%		12,788	13.5%		13,610	14.0%		14,516	14.7%		13,498	13.5%		12%	±5%
外 国 債 券	5,129	5.3%		5,317	5.6%		5,079	5.2%		5,491	5.5%		5,516	5.5%		5%	±3%
外 国 株 式	9,942	10.2%		9,573	10.1%		10,236	10.5%		11,486	11.6%		11,461	11.5%		9%	±5%
貸 付 金	3,754	3.8%		3,363	3.6%		3,230	3.3%		3,087	3.1%		2,957	3.0%		6%	±3%
短期資産運用等	6,616	6.8%		4,932	5.2%		5,689	5.8%		3,943	4.0%		5,803	5.8%		5%	±2%
合 計	97,657	100.0%		94,638	100.0%		97,529	100.0%		99,059	100.0%		100,074	100.0%		100%	—

注 それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

## 2 運用状況

〈修正総合利回り〉

	平成25年度第1四半期 (4～6月)	平成25年度第2四半期 (7～9月)	平成25年度第3四半期 (10～12月)	平成25年度第4四半期 (1～3月)	平成25年度通期 (4月～3月)
国 内 債 券	△1.32%	+1.06%	+0.18%	+0.79%	+0.72%
国 内 株 式	+9.91%	+5.90%	+8.85%	△7.16%	+17.70%
外 国 債 券	+3.89%	+1.84%	+8.01%	+0.52%	+14.48%
外 国 株 式	+6.59%	+7.24%	+16.17%	△0.31%	+31.62%
貸 付 金	+0.60%	+0.60%	+0.60%	+0.58%	+2.39%
短期資産運用等	+0.09%	△0.01%	+0.16%	△0.05%	+0.20%
合 計	+1.37%	+2.29%	+3.48%	△0.56%	+6.64%

(参考)

平成24年度
+3.78%
+22.27%
+17.83%
+28.28%
+2.39%
+0.32%
+9.04%

$$\text{修正総合利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}}{\text{簿価平残} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益}} \times 100(\%)$$